



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年2月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社エクストリーム
 コード番号 6033 URL <http://www.e-xtreme.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理部長
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 佐藤 昌平
 (氏名) 由佐 秀一郎

TEL 03-6673-8535

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	1,200	—	137	—	130	—	82	—
26年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	92.82	80.91
26年3月期第3四半期	—	—

- (注) 1. 当社は、平成26年3月期第3四半期においては、四半期財務諸表を作成していないため、平成26年3月期第3四半期の数値及び平成27年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。
 2. 当社は、平成26年10月15日付で普通株式1株を200株に株式分割しておりますが、当該株式分割が前事業年度の期首に行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額を算定しております。
 3. 当社は、平成26年12月25日に東京証券取引所マザーズ市場に上場したため、平成27年3月期第3四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額は、新規上場日から平成27年3月期第3四半期会計期間末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	1,129	—	664	—	58.9	—
26年3月期	610	—	260	—	42.6	—

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 664百万円 26年3月期 260百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,697	27.4	190	—	179	—	115	—	120.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

1. 当社は、平成26年10月15日付で、普通株式1株につき200株の株式分割を行っております。このため、1株当たり当期純利益については、当該株式分割の影響を考慮しております。
 2. 平成27年3月期の業績予想の1株当たり当期純利益は、公募株式数(250,000株)及びオーバーアロットメントによる売出しに関連する第三者割当増資分(37,500株)を含めた予定期中平均発行済株式数により算出しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P.3「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | | |
|----------------------|---|---|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : | 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : | 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : | 無 |
| ④ 修正再表示 | : | 無 |

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期3Q	1,129,000 株	26年3月期	893,200 株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	— 株	26年3月期	14,200 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期3Q	886,273 株	26年3月期3Q	— 株

(注) 1. 当社は、平成26年3月期第3四半期においては、四半期財務諸表を作成していないため、平成26年3月期第3四半期における期中平均株式数(四半期累計)を記載しておりません。

2. 当社は、平成26年10月15日付で、普通株式1株につき200株の株式分割を行っております。このため、期末発行済株式数(自己株式を含む)、期末自己株式数及び期中平均株式数(四半期累計)は、当該株式分割が前事業年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績等の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6
(重要な後発事象)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、足元の景況感の停滞から消費増税が見送られ、個人消費の力強さを欠く動きが見られました。一方で、円安進行による輸出環境の改善など企業を取り巻く状況は刻々と変化しており、先行きは依然不透明な状況が続いております。

当社を取り巻く環境につきましては、前四半期同様、スマートフォンを中心としたモバイル端末におけるゲーム及びアプリ市場の成長が引き続き著しく、2016年度には国内において8,000億円規模のマーケットに成長すると予想されております(出所: CyberZ/シード・プランニング共同調べ)。また、世界のゲーム市場は、2013年度7.6兆円という実績となりましたが、2017年度には11.6兆円まで成長すると予想されております(出所: フランスIDATE社調査)。

このような状況下、当社はゲームを中心としたエンターテインメント系企業へ向けた人材ソリューション事業及び、パソコン・モバイル機器向けゲームコンテンツの企画・開発・運営を行うコンテンツプロパティ事業を引き続き積極的に展開し、取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期における売上高は1,200,941千円、営業利益は137,088千円、経常利益は130,077千円、四半期純利益は82,260千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産・負債・純資産の状況

(総資産)

当第3四半期会計期間末における総資産は、売上高増加に伴う売掛金の増加36,170千円、新規上場に伴う公募増資資金による現金及び預金の増加477,967千円などにより、1,129,032千円となり、前事業年度比518,432千円の増加(前事業年度比84.9%増)となりました。

(負債)

当第3四半期会計期間末における負債は、長期借入金の減少16,192千円、賞与引当金の減少9,144千円があったものの、未払金の増加31,790千円、未払法人税等の増加49,725千円などにより、464,528千円となり、前事業年度比114,178千円の増加(前事業年度比32.6%増)となりました。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産は、新規上場に伴う公募増資の実施による資本金の増加151,855千円、資本剰余金の増加165,695千円、四半期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加82,260千円などにより、664,504千円となり、前事業年度比404,254千円の増加(前事業年度比155.3%増)となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

ソリューション事業における市況はスマートフォンアプリの市場拡大により、今後も順調に継続するものと見ております。また、営業要員の増加及び自社による独自の技術者養成プロジェクトなど供給体制も強化し、不足しがちな技術者需要に対応できる仕組みづくりを継続し、収益機会の拡大を図って参ります。

コンテンツプロパティ事業におきましては、「桃色大戦ばいろん」シリーズなど既存サービスを中心に人的リソースを重点的に配置し、足元の利益を確保しながら協業開発案件など新規プロジェクトを積極的に進めて参ります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	355,259	833,226
売掛金	144,595	180,765
製品	613	562
仕掛品	—	3,188
その他	32,817	18,381
貸倒引当金	—	△1,704
流動資産合計	533,285	1,034,420
固定資産		
有形固定資産	5,061	11,498
無形固定資産		
ソフトウェア	6,225	4,824
ソフトウェア仮勘定	3,927	11,270
無形固定資産合計	10,153	16,095
投資その他の資産		
投資その他の資産	65,933	70,910
貸倒引当金	△3,833	△3,892
投資その他の資産合計	62,099	67,018
固定資産合計	77,314	94,611
資産合計	610,599	1,129,032
負債の部		
流動負債		
1年内償還予定の社債	7,000	7,000
1年内返済予定の長期借入金	24,288	24,288
未払金	104,881	136,672
未払法人税等	491	50,216
賞与引当金	19,701	10,556
その他	34,648	96,147
流動負債合計	191,010	324,881
固定負債		
社債	39,500	36,000
長期借入金	119,839	103,647
固定負債合計	159,339	139,647
負債合計	350,349	464,528
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,041	251,896
資本剰余金	84,908	250,604
利益剰余金	79,664	161,925
自己株式	△4,449	—
株主資本合計	260,165	664,426
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	84	77
評価・換算差額等合計	84	77
純資産合計	260,249	664,504
負債純資産合計	610,599	1,129,032

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位:千円)

	当第3四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	1,200,941
売上原価	795,971
売上総利益	404,969
販売費及び一般管理費	267,881
営業利益	137,088
営業外収益	
受取利息	123
為替差益	4,814
助成金収入	1,710
その他	747
営業外収益合計	7,395
営業外費用	
支払利息	1,257
株式公開費用	9,005
株式交付費	3,661
その他	482
営業外費用合計	14,406
経常利益	130,077
税引前四半期純利益	130,077
法人税等	47,816
四半期純利益	82,260

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成26年12月25日付の東京証券取引所マザーズ市場への上場之际、平成26年12月24日を払込期日とする一般募集（ブックビルディング方式による募集）による新株発行により、資本金及び資本準備金がそれぞれ151,855千円増加し、当第3四半期会計期間末において資本金が251,896千円、資本準備金が236,763千円となっております。

(セグメント情報等)

当第3四半期累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益 計算書計上額 (注) 2
	ソリューション 事業	コンテンツ プロパティ事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,036,702	164,239	1,200,941	—	1,200,941
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,036,702	164,239	1,200,941	—	1,200,941
セグメント利益	250,658	16,782	267,441	△130,352	137,088

(注) 1. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用（報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費）であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

平成26年11月21日及び平成26年12月8日開催の取締役会において、大和証券株式会社が行うオーバーアロットメントによる当社株式の売出し（貸株人から借入れる当社普通株式37,500株の売出し）に関連して、同社を割当先とする第三者割当による新株式の発行を決議し、平成27年1月26日に払込が完了いたしました。

この結果、資本金は276,046千円、発行済株式総数は1,166,500株となっております。

①発行する株式の種類及び数：普通株式 37,500株

②割当価格：1株につき 1,288円

③払込金額：1株につき 1,122円

④資本組入額：1株につき 644円

⑤資本組入額の総額：24,150千円

⑥割当価額の総額：48,300千円

⑦払込期日：平成27年1月26日

⑧割当先：大和証券株式会社

⑨資金の使途：技術系社員の技術力向上を目的とした研修施設新設のための設備投資及び研修用教材ソフトウェアの購入、新規ゲームタイトル及びIPキャラクター制作に係る開発費用、社内基幹システム拡充に伴うシステム開発資金、過去に実施した運転資金を目的として借入れた金融機関からの長期借入金の返済及び本社移転のための引越費用に充当する予定であります。

また、具体的な支出が発生するまでは安全性の高い金融商品等で運用する方針であります。